

○執筆者紹介

①生年・出身地, ②所属, ③専門領域, ④研究業績, ⑤
奄美と関係した活動
の順番で掲載しております。

■中村 直子 (なかむら なおこ)

- ① 1964年・鹿児島県
- ② 鹿児島大学埋蔵文化財調査室助教授
- ③ 日本考古学
- ④ 「食器としての弥生土器器種組成の解釈—南九州弥生土器を素材として」HOMONIDS, 3. 2003年.
「古墳時代南部九州在地土器と土師器との関係性」
『新しい関係性を求めて』鹿児島大学全学プロジェクト報告書. 2004年.
「住居跡およびその周辺における土器出土状況の特殊な事例について—南九州古墳時代を中心として」
『鹿児島考古』38. 2004年.

■新里 貴之 (しんざと たかゆき)

- ① 1971年・沖縄県
- ② 鹿児島大学埋蔵文化財調査室助手
- ③ 南島考古学
- ④ 「Distribution Networks in the Okinawa Islands in the Period Parallel with the Yayoi (300BC to AD300)」
『Bulletin of the Indo-Pacific Prehistory Association』
Vol.23 the Indo-Pacific Prehistory Association, 73—82頁2003年12月
「沖縄諸島の土器」『考古資料大観 12 貝塚後期文化』小学館203—212頁 2004年5月
「Changes in Exchange Systems in Pre-and Proto-historic Ryukyu Archipelago」『Anthropological Science』112(3)2004年12月

■萩野 誠 (はぎの まこと)

- ① 1959年・福岡県
- ② 鹿児島大学法文学部経済情報学科経営情報講座教授
- ③ 経営情報論
- ④ 『情報技術と差別化経済』九州大学出版会, 2003年
『鹿児島の経営者にみる成功の法則』南日本出版社, 2003年

○編集後記

■ 表紙写真は、徳之島の伊仙町佐弁で開催された、トマチン遺跡現地説明会の様子と、トマチン遺跡からの出土品の写真です。埋蔵文化財調査室よりご提供いただきました。ありがとうございました。中央が説明会の様子、向かって左側が墓壇内の遺物と人骨の出土状況、右側がヒスイ玉と思われる出土品の写真です。トマチン遺跡については、本号の新里先生の論文をご参照ください。

さて、私が担当しております地域政策科学専攻（博士後期課程）では、今月19日（土）、鹿児島大学稲盛会館にて、「第2回プロジェクト研究報告会」を開催いたします。市町村合併・エコミュージアムなど、地域に密着した5つの題目について、院生たちが研究成果を発表します。現在、報告集も作成中で、当日はできあがった冊子を来場者へ配付する予定です。一般の方々にも親しみやすい内容となりましたので、お気軽にご来場ください。なお、報告会の詳細については、地域政策科学専攻事務室（電話：099－285－3573）までお問い合わせください。

研究責任者 山田 誠
奄美ニューズレター
発行 鹿児島大学

編集責任者 萩野 誠
AMAMI News Letter
発行日 2005年2月10日